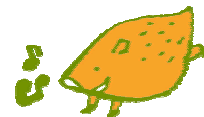


EHIME ROUSAI HOSPITAL KANGOBU NEWS NURSE LETTER Month 5



看護週間行事

看護の心をみんなの心に
～看護のプロとして働く。
チームの一員として輝く。～

平成3年に制定された頃にはピンとこなかった「看護の日」「看護週間」も、今では恒例の看護週間行事として定着してきました。当院でもふれあい看護体験とグランフジでの健康チェック・医療相談、入院患者さまへのメッセージカードを配布しました。こうした活動を通じて私たち自身も「看護の心」について改めて考える機会となりました。

北4病棟 真鍋 美智恵

看護への理解を深めてもらおうと、5月8日地域の住民10名の参加のもと、ふれあい看護体験を行いました。北4病棟では、血圧測定・足浴・全身清拭等の体験や、新生児室の見学を行って頂きました。全身清拭時には、「もっと早くこのような体験をしていたら、母親の介護に活かされていたのに残念です。実際にやってみると大変でした。」との声が聞かれました。一緒に看護ケアをした私も、初心に返ったような新鮮な気持ちになり、これからも地域の皆さまに安心・信頼される看護を行っていききたいと思います。



院外医療相談 ～グランフジにて～ 北6病棟 真鍋由起美

今回初めて看護週間行事(医療相談)に参加しましたが、地域の方々から沢山測定に来られたのに驚きました。最近、TVでも3大成人病やメタボリック症候群が話題となり、健康についての関心が非常に高い事がわかりました。今回、私は骨密度測定を担当しました。普段測定する機会が少ない為か、人気ナンバーワンで、多くの人が興味を持たれており長蛇の列となって待たれていました。院外で地域の方々と接する事ができ、健康の予防・維持について考えることができよかったです。来年もできるだけ多くの方々に参加していただければいいなと思いました。

ボランティアの皆さん
ご協力ありがとうございました。
そしてお疲れさまでした。



静脈注射

南6病棟 大西 茜

静脈注射レベル3研修に参加しました。安全機能付の様々な製品が開発されていますが、インサイトは初めて手にするもので穿刺針の収納力には驚きました。業者の方々で一連の穿刺方法を再確認するよい機会となり、使い方を誤らなければ針刺し事故は防げる!! 患者様の安全はもちろんのこと、自分自身の安全も守らなければならないことを改めて痛感しました。病棟では細い血管に悪戦苦闘の毎日です。

でも患者様には“チクリ”と痛い思いをさせてしまうのは一度だけで済むよう、確実な技術を磨き・身につけたいと思いました。



第2 新人さん紹介

北7病棟 中村 理子

4月より愛媛労災病院勤務になりました。急性期病棟に配属となり、不安と緊張で一杯ですが、早く職場に慣れていきたいと思っております。よろしくお祈りします。



つぶやき... MAY.2007

たくましさは

笑顔をつくる力のこと